

議会だより

苫前郡苫前町字旭 37 番地の 1

発行日 令和 7 年 10 月 28 日

No. 141

議会報発行
特別委員会

委員長

早川日出利

副委員長

田沢 収

委員

伊藤まち子

服部 大輔

苫前厚生クリニック経営損失 補償金等の補正予算を可決！

令和 7 年 第 3 回 町議会 定例会 は、9 月 17 日に招集され、会期を 19 日までの 3 日間と決定。

町長からは条例 1 件、予算 5 件、決算 2 件、報告 1 件、人事 2 件、その他 4 件、議員から意見案 1 件、その他 3 件が提出され、伊藤議員、早川議員の 2 氏が一般質問を行った。

令和 6 年度 各会計 決算の説明のあと、決算審査特別委員会を設置し、18 日に同委員会に付託された決算書等の審査を行い認定され、本会議に提出された議案を全て可決し、会期を 1 日残して閉会した。

○一般会計補正予算（第 7 号）

追加 6 9 3 4 万 6 千円
総額 5 6 億 7 2 万 4 千円

○国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）

追加 2 1 万円
総額 4 億 9 0 6 2 万 7 千円

○介護保険特別会計補正予算（第 2 号）

追加 1 5 7 4 万 7 千円
総額 4 億 6 1 6 9 万 3 千円

○下水道事業会計補正予算（第 2 号）

追加 3 3 6 万 1 千円
総額 2 億 4 9 8 1 万 7 千円

○風力発電事業会計補正予算（第 1 号）

追加 1 7 8 5 万 5 千円
総額 1 億 1 5 8 1 万 6 千円

（主な補正）

- ・低所得者支援及び定額減税補足給付金
1 0 0 0 万円 追加
- ・生きがいデイサービスセンター指定管理料
4 8 0 万円 増額
- ・苫前厚生クリニック経営損失補償金
6 2 8 5 万 2 千円 追加

（主な議案）

令和 7 年 第 3 回 定例会 9 月 17 日～18 日

○令和 6 年度 健全化判断比率及び資金不足比率
実質公債費比率 9：1%

○職員の育児休業等に関する条例等の一部改正
・1 日 2 時間の範囲内（任意の時間で請求可）又は 1 年につき 10 日の範囲内のいずれかを選択

・仕事と育児の両立支援制度等の利用に関する意向の確認を任命権者に義務付け

○財産の取得価格の変更

医療法人社団オロロン会が整備する診療所及び医師住宅等の取得価格の減額変更
変更後 2 億 3 3 1 万 9 千円

○北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更

○北海道市町村総合事務組合規約の変更

○北海道市町村職員退職手当組合規約の変更

江差町・上ノ国町学校給食組合の解散に伴う規約の変更

○決算審査特別委員会の設置と委員の選任

委員長 伊藤 まち子
副委員長 早川 日出利

○教育委員会委員の任命同意
星野 亜季 氏（49 歳）

○固定資産評価審査委員会委員の選任同意
加藤 孝幸 氏（63 歳）

一般質問

Q 冬期間の防災対策は十分か A ヒグマとの共存の講習会を 防災品等の拡充を図る 講習会や情報提供の場を設置



質問 伊藤 議員

冬期間における防災について

・冬期間における避難場所の毛布等の防寒用品備蓄の数量
・集落の会館では発電機の備えもなく温風式電気暖房器具と思われるが移動できるポータブルストーブなどの暖房器具は。
・積雪時における避難路の確保は。

答弁 富士 町長

・冬期間の避難場所の防寒用品は、災害用毛布が353枚、レスキューシート430枚、床からの冷気を防ぐ段ボールベッドを118台備蓄している。

・暖房器具はポータブルストーブやカセットガスストーブは備蓄しているが、十分な数はない。
・積雪時における避難路の確保は、きめ細かな除排雪を心がけているが、災害の状況によっては、通行不可能になる場合が想定される。

避難所数や避難人数を考慮すると十分な防寒対策とはいえ、各地区の会館の暖房設備の状況などを確認し、電気を使わない

暖房器具の配置、または非常用発電機を整備し、防寒用品を含め、拡充を図る。

特に冬の災害時は、ライフラインの断絶に備えて、食料、飲料水、防寒着などの非常用物資のほか、ポータブルストーブや使い捨てカイロまた湯たんぽなどの保温器具や電気がなくても使える暖房器具など、自助の精神のもと、各自の備えも周知する。



町の備蓄品庫

質問 伊藤 議員

害獣被害（ヒグマ）の対策について

町内においても、人慣れしたと思われるクマによる被害や目撃情報が多く、重大事故の前兆となる可能性がある。今後クマとの共存を考えて生活していかねければならず、専門的な知識を有する方に検証と住民向け講習会を開催し、クマに出会った場合の適切な対処の学習が必要ではないか。

答弁 富士 町長

ヒグマによる事故防止のため、町としても監視カメラによるヒグマの行動特定からの被害防止や箱わな設置によるヒグマを駆除するための対応などをとっている。現在2基ある箱わなを1基増設し、3基体制とすることを検討している。

被害を防止するためには、住民の皆様における、ヒグマに近づかない、ヒグマを寄せ付けな対応がもっとも効果的であり、かつ重要であり、周知をはかる。ヒグマとの共存については、生



人里に現れた熊



箱罠設置

物多様性の保全も図っていく一方、人身事故はもとより農作物等への被害の防止も含め、地域住民の安全を確保するためには、人里へ侵入したヒグマについては、原則として駆除すべきと考えている。

北海道では、各振興局に「地域連絡協議会」が設置されており、こうした組織を活用しながら専門的な知識を有する方から、ヒグマの生態や遭遇した際の対応やクマの生態など学習のための講習会や情報提供の場の設置などを考えている。

一般質問

Q これからの農業の展開を
どう考える

A 第二弾スマート農業の推進



質問

早川 議員

答弁

福士 町長



無人トラクター

持続可能な農業の切り札となるスマート農業の今後の普及と展開は、意欲的な農業者の育成促進のための方策は、それぞれの持ち面積も許容範囲を超えつつあり、年々土地の流動化が進み、今後耕作放棄地となることが危惧される。農業者としての人材確保が望まれる中、地域おこし協力隊の新規就農者を目的に移住できる体制作りは、現在の経営体の中で新規就農者を受け入れ出来るか調査し、可能な経営体に受け入れる体制づくりを考えてはどうか。

スマート農業の推進については、本町の今後における農業振興のため必須の政策であるとの認識を持っている。各種スマート農機の性能が高まっていること、また、技術開発によりスマート農業の活用が新たに可能となった作業や、すでに導入済みである方の高性能農機への切り替えや新規での導入希望など多くの要望があり、今後は、苦前町ICT推進協議会やJAの苦前基幹支所をはじめ関係機関が協議のうえ、スマート農業の第二弾の推進を図るべく道や国に対して補助事業の活用を要望を行う。

持続可能な農業を続けられる為にも農業者それぞれの営農形態に合わせた機械導入や施設整備、さらには、農産物の新たな商品化など6次産業の取り組みに支援している。一次産業のみならず、観光や町おこしなど多面的な活躍をしている若手生産者との意見交換など世代にかかわらず意欲的な農業者を支援するため、国の補助事業の積極的

な活用や様々な町単独事業を実施していく。



ドローンによる農薬散布

条件不利地から耕作放棄地が発生していくのではという懸念は抱いている。農業者としての人材確保と新規就農の対応策のひとつとして地域おこし協力隊の活用は、他市町村での運用実績もあり有効な手段であると認識をしている。農業分野における地域おこし協力隊の確保を実現するためには、研修の受入先の確保や住宅の確保など、新たな就農者を迎え入れる体制づくりなど、就農希望者をサポートする役割を担う機関のあらたな設置を考えている。

新たな受入体制の構築のため経営体における新規就農者の受入に対する調査は有意義であると考えており、関係機関とも協議をして進めていく。



GPSによる田植え作業

農業は苦前町において重要な基幹産業であり、安定しなければ他の産業や地域住民に対しての影響も非常に大きいものと認識をしている。目まぐるしく変わる国の農業政策の中で、苦前町の今後の農業については課題を克服すべく、道や国に対しての要望活動を含め関係機関と連携しながら施策を進める必要があると考える。

決算審査特別委員会

議選の村本監査委員を除く7名

委員長

伊藤 まち子

副委員長

早川 日出利

〔一般会計決算〕

質 田沢委員

町営住宅使用料と若者交流センター使用料の未収入金の人数と月数は。

徴収方法はどのように考えているか。

答 宮前こども教育課長

現年分は7件で50か月分、滞納分は5件で42か月である。

徴収方法は電話での督促、文書での催告や連帯保証人へも連絡している。最悪の場合、弁護士事務所からの債権回収も考えている。

答 宮野建設課長

町営住宅使用料の未収入金は2名で22か月分であり、町営住宅駐車場使用料の未収入金は2名で23か月分である。

質 早川委員

町民税・国民健康保険税が現年度未納額の増加により、滞納繰越との合計額の増加の内容と他対策は。

答 島田住民生活課長

町民税の滞納者は6名・特別徴収事業者2社が増加したが、令和7年度に入り1社は完納になり、他は分納となっている。



部活輸送のスクールバス

国民健康保険税は滞納者が4名増えたが、2名は令和7年度に完納となっている。今後も電話・納税相談・戸別訪問を行い、滞納者の実態調査を実施。

質 早川委員

部活動生徒輸送業務委託料・対象生徒12名の内容は。

答 宮前こども教育課長

週4日間と休日の部活の輸送で、委託料は陸運局の査定によるもの。今後生徒の減少に伴い委託料の内容等を再度検討し少しでも圧縮したい。

委員会レポート

所管事務調査

9月1日

○苦前小学校の概要

○消防古丹別支署建設現場

○ななかまどの館修繕箇所

○町道東川川南線災害箇所

○若者交流センターB棟別棟建設場所

○緑ヶ丘スキー場リフト改修箇所

○JA大豆倉庫建設予定地

○西古丹別揚水機場

○苦前クリニック内覧

○オートキャンプ場修繕箇所

○ホワイトビーチ修繕箇所

○未来港公園修繕箇所

総務産業常任委員会

9月2日

○生きがいデイサービスセンター指定管理料の増額

利用人数減少、人件費、物価高騰によるもの。

補正額 480万円

○マンホールポンプ所修繕

ポンプ1台が故障し、苦前地区の下水処理に支障をきたすことから早急な修繕を行う。

○古丹別地区多世代交流・多
機能型拠点施設整備事業
の改修

本町とるもい農業協同組合
は「古丹別地区多世代交流・
事業の点検評価

多機能型拠点施設整備事業に
関する連携協定」を締結した。
改修

○上平共同利用模範牧場トラ
クター購入
50馬力(中古)1台 70万円
事業費 7371万1千円

○ドローン操縦に係る資格取
得講習
有害鳥獣被害の拡大に対応
するため広域かつ安全に監視
可能なドローンを活用する。
事業費 49万7400円

○マリビジョン協議会の取組
・浜焼き販売事業実施報告
風車祭り会場にて「浜焼き
セット」を販売し地元水産業
のPR

・北海道マリビジョンコン
テスト2025「苫前漁港港
内蓄養実証事業」が優良賞を
受賞

・今後の取組は水産物PR、販
路拡大、ブランド化を進める。
・苫前漁港新規整備計画の概要
令和6年度～令和15年度
事業費 96億5千万円

○地域医療対策
・苫前厚生クリニック経営損
失補償金 6285万2千円
・苫前クリニックの取得価格
の変更
変更後 2億3311万9千円

医療対策特別委員会 9月2日

械室建屋の改修(2カ年)
事業費 7371万1千円



完成間近の苫前クリニック



北海道町村議会議員 研修会

日時 令和7年7月8日～9日
場所 札幌コンベンション
センター

講師 西南学院大学法学部
教授 勢一 智子氏

演題 地方議会における議員
の多彩化に向けて(地域
社会の鏡としての議会を
考える)

講師 人口戦略会議
副議長 増田 寛也氏

演題 人口減少社会を生き抜
くために

講師 人口戦略会議
副議長 増田 寛也氏

議会広報研修会

日時 令和7年8月19日
場所 ポールスター札幌

講師 議会広報サポーター
芳野 政明 氏

演題 議会の「見える化」&
住民との「信頼築く」議
会広報の基本と編集



研修を受ける議員

留萌管内町村議会 議員研修会

日時 令和7年8月29日
場所 遠別町生涯学習センター

講師 内閣官房内閣審議官
新田 一郎 氏

演題 地方行政の課題

友好姉妹都市三重県 桑名市議会議員来町

本町の友好姉妹都市である
桑名市の市議会議員9名が8
月28日に研修のため来町し、
とままえ温泉ふわっとで本町
との交流を深めた。



友好を深めた桑名市議会議員

議会報発行特別委員会

検討協議・レイアウト・編集
作業

9月19日
10月3日
10月7日

第2回議会臨時会

7月1日

○物品売買契約の締結

鳥獣被害防止総合対策事業（電

気柵）

○令和7年度一般会計補正予算（第4号）

補正額 380万円

*簡易水道事業会計繰出金

第3回議会臨時会

7月23日

○財産の取得

取得財産

若者交流センターB棟別棟

取得方法

譲渡特約付賃貸借契約

賃貸借期間

令和8年4月～令和18年3

月（10年間）

賃貸借金額

月額 276万8700円

契約相手

札幌市 三菱電機フィナン

シャルソリューションズ（株）

北海道支店

○令和7年度一般会計補正予

算（第5号）

補正額 119万5千円

*中体連出場事業補助金

意見書

国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書

北海道の道路を取り巻く環

境は、高規格道路における

ミッシングリンクをはじめ、

自然災害に伴う交通障害、幹

線道路や通学路における交通

事故、道路施設の老朽化など、

多くの課題を抱えています。

これらの課題を解消し、人

流・物流の効率化による生産

性向上及び国際競争力の強

化、激甚化・頻発化する大規

模災害に備えた強靱な地域づ

くりを進めるため、道路網の

整備や老朽化対策などを着実

に推進するとともに、安定し

た除排雪体制の確保など冬期

間の住民の安全・安心を確保

することが必要であります。

そのため、地方財政が依然

として厳しく、また資材単価

の高騰や賃金水準の上昇に対

応する中でも、道路整備・維

持管理を進めるための予算を

確保することが重要であり、

国土強靱化の取組をより一層推進するため、特段の措置を講ずるよう強く要望します。

〔提出先〕

衆議院議長・参議院議長・内

閣総理大臣・総務大臣・財務

大臣・国土交通大臣・国土強

靱化担当大臣

老朽化が著しい国道239号線

編集後記

9月に入っても本州では夏日が続いていますが、北海道は秋らしい季節になりました。今、本町は稲刈り作業の真最中で豊穰の秋を迎えています。

国政に目を向けると自民党の総裁選挙一色ですが、この議会だよりが皆さんの手に届く頃には、新しい自民党総裁が決定していることでしょう。

誰が総理大臣になってもこの物価高の世の中を変えてほしいと願ってやみません。

スポーツ好きの私にとって、は東京で開催している「世界陸上」を毎日観ているため寝不足の日々が続いています。

これから日ごとに寒くなっていますので、皆さん風邪をひかないよう気をつけて下さい。

文責 田沢 収

